

## 有安さんと大庭さんの 往復書簡

---

美幸さま

こんにちは！

無事健康診断がおわり、なんと私の人生に多大なる影響を及ぼした低めの身長が、1cmばかり伸びていることが発覚しました。なんとということでしょう！

地道に続けているヨガのおかげで背筋が伸び、姿勢に影響が出ているとしたら嬉しく思います。

そのことがまさにご褒美！かもしれませんが、

私が能動的に自分に渡しているご褒美について、お話しさせてください。

食べものはいつだって私の心を満たしてくれ、美しいものもまた同じように心の栄養になるにちがいありません。

ところが、「ご褒美」となると、少し別のものを思い浮かべます。

それは「時間」。

仕事や家庭のあれこれ、つい時間に追われます。

その時間を気にせず何かに没頭することは、私にとってのご褒美のひとつかもしれません。

たとえば、いま取り組んでいることのひとつに、社会福祉士の国家試験に向けての学習があります。その学習をするのに、ごはんの時間や次の仕事を気にしなくてもよい日があると、とても有意義に感じられます。

だから、勉強する場所には、ずっとそこにいることがはばかれるような場所ではなく、自宅や、気を許せる行きつけの珈琲屋さんなどを選びます。

先日は、「ふう」とキリがついたとき、ちょうど珈琲屋さんが閉店する30分前でした。お店ですからさすがに閉店時間という縛りはあり、その意味での自由はないのかもしれませんが、何時間もいられるとは、私にとっておおいに自由を感じられる場のひとつです。

お店の人は私にとって姉のような存在で、「お疲れさま」とおかわりを淹れてくれ、話しながらいただきました。

## 有安さんと大庭さんの 往復書簡

かりに閉店時間がきていたとしても、彼女は私にその時間かっきりに「帰れ」とは言わないような人です。

そのことがわかっているから、もちろん閉店時間を超えて滞在するようなことは、彼女が望まないかぎりしません。けれども、なんとなく身体なのか、本能なのか、あるいは夕食を待ち望む腹時計なのか、無理におわろうとしなくても、私の勉強はちょうどよくおわるのでした。

もちろん、勉強だけでなく、遊びや家事、仕事、あるいは寝ることなど、時間を気にしなくてもよいとき、私の心身はとてものびのびとしていて、解放感を得ながら、結果的によいパフォーマンスを発揮したり、あるいはとてもりフレッシュして元気が出たりするので、なによりのご褒美になっています。

大人にとって時間とは、もしかすると最高の財産のひとつではないかと思うことがあります。

誰かと一緒に過ごすとき、その内容や相手ももちろん大切なのですが、時間を共有してくれることへのありがたみを感じます。

美幸さんは、最近誰かと素晴らしい時間をシェアされたか？楽しい時間の思い出がありましたら、ぜひお聞きしてみたいです！

そういえばいま使っている3色のボールペンは、友人がみつけて買ってくれたものです。

忙しい日々に、私の好きな「こぐまのケーキ屋さん」を思い出して買ってくれる、いつまでもキャラクターものが好きでたまらない、永遠の中2病の私に時間を分け与えてくれる友人の優しさには感謝しかありません。

友人の好きなお菓子をきょうは届けることにしました。

美幸さんがキャラクターグッズを身につけていらっしやるのはイメージできませんが—

もしかすると、盛り上がるのでは！と、中2の私が耳元で囁きます。



お気に入りのペンで勉強。  
問題集+付箋で効率UPです

愛実

愛実さま

こんにちは！

まずは、健康診断を無事に終わられたことに安堵しております。

そして、身長が1cm伸びておられたとのこと。

おめでとうございます!! 実は私も低身長なのですよ。(154cm)

また新たな共通点を見付けることが出来ました♡

ですが反面、愛実さんの察する通り私はキャラクターには愛着が沸かない性格です。

ハイブランドが好きな、いけ好かないやつなのです(笑)

さて、今回は「素晴らしい時間を誰とシェアしたか」

についてお話ししますね。

私は、ここでも可愛くないことに人見知りをしたことがありません。

幼い頃から新たな出逢いに胸を躍らせておりました。

昨年からはフリーランスとして活動を始めたことで、

有難いことに色んな方とお出逢いする機会が増えました。

新しい経験や学びも得られ、色鮮やかな毎日を送っております。

そんな新たな刺激が大好きな私ですが、

それは安心出来る存在や場所があるからなのです。

私の軸を作り心を支えてくれるのは、家族と学生時代の親友の存在です。

本日は親友について。

彼女たちは、大学時代の友人です。

私を含めた4人グループで、付き合いは20年程になります。

私たちはそれぞれ性格が違うのですが、  
長い時間を共にしていたにも関わらず揉めたことは一度もありません。

「美幸はワガママなリーダーだからね♡」と  
優しく見守り、許してくれる彼女たちがいるお陰なのは  
言うまでもないことです。

ランチ・カラオケ・ショッピング・サークル・飲み会・国内外の旅行・  
お互いの家でのお泊り会…etc  
彼女たちのお陰で、楽しく充実した学生時代を過ごすことが出来ました。

些細な事で毎日おなかがよじれる位、笑い転げていたものです。

そんな私たちの住まいは、京都・大阪・兵庫・和歌山と、見事に離れておりました。  
大阪にある大学が私たちを結び付けてくれたのです。

大学卒業後は、それぞれの道に進み、就職・結婚・出産と新たな世界に踏み出しました。

各々の状況もあり、今では全員で集合出来るのは1年に数回、  
それも数時間だけとなりました。

しかし私にとっては、これが“素晴らしい時間のシェア”で  
かけがえのない瞬間であり、なくてはならないものなのです。

私の軸を補強し、明日へのパワーに繋げてくれる大切な時間でもあります。

彼女たちを目にした瞬間、私は一瞬にして、  
あの輝かしい学生時代にタイムスリップします。

会話の内容が、授業の課題や恋愛から、  
子どもや親の介護の話などに変わったことは、  
ここだけの話ですよ(笑)

前回集合したのは、満開の桜の時期でした。  
桜の花同様、話に花を咲かせていたのは言うまでもないことでしょう。

今回は夏休み位かな？と計画しているところです。  
彼女たちの性格や思い出話を語ると、本一冊分くらいになりそうなので、  
このへんで結びにいたします。

さて、今回は愛実さんの「学生時代」について聞いてみたいです。

そうそう、思い出と言えば、  
携帯に保存してある写真が“〇年前の思い出”として勝手に出てくる機能が好きで  
いつも楽しんでおります。  
そんな時も私は、一瞬にしてその瞬間にタイムスリップし、  
一人でニマニマしているのですよ。

美幸



会えばタイムスリップさせてくれる友人たち。  
新しい物事と、まるで20代のような気持ちは  
どちらも私の元気や強さの源なのです！